

# 市議会だより

## おおまち

180号

令和2年11月1日発行

9月定例会号



議会だよりライブラリーで過去の  
議会だよりも見ることができます

特集 | 令和元年度決算審査報告…… 2～4ページ  
常任委員会審査報告…………… 16～17ページ

### 表紙写真 | 山村留学生の稲刈り

山村留学の皆さんが八坂地区の棚田の稲刈りをしました。今では貴重な体験ですが、作業を通じて「人づくり」につながることを期待するものです。

撮影者：武居今朝夫



# 決算審査 令和元年度決算

9月議会は決算議会と言われ、市民のお金がどう使われたか、事業が効果的に実施されたかなどを検証し、成果や課題を洗い出し、次年度予算の事業へつなげるものです。

議会では、審査の結果を下記のような意見に集約しましたので、その一部を報告します。今後は議会の意見が次年度予算編成にどう反映したか、検証していきます。

## 健康・子育て・環境



ココを評価！

**給食費の口座振替で負担減**  
 小中学校の給食費を公会計化し、口座からの引き落としが可能になったことで、保護者、教員双方の負担軽減につながった。

### 療育事業、多様化するニーズに対応を

児童の療育事業では、必要とされる支援内容が多様化している。引きこもりの若者や発達相談など、実施事業所との更なる連携によりニーズに合致した事業展開を。

ココを改善指摘！

### 保護者の要望についても検討を

児童クラブ運営事業では、開所時間延長の要望がある。検討を。

### 地域の意識醸成へ

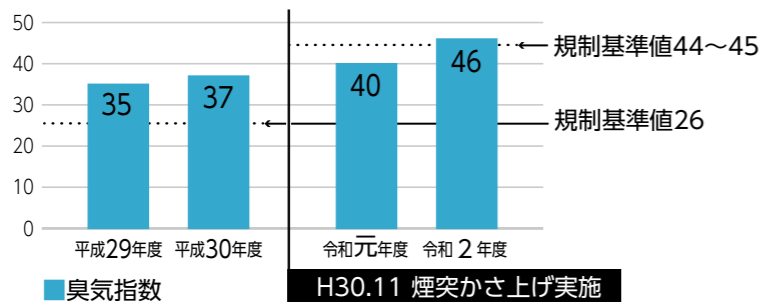
コミュニティスクール推進事業について、地域と学校の関係がどのように変化しているのか分かり難い。市民参加のあり方の検証が必要。

ココを改善指摘！



子ども達にとって大事な居場所、児童クラブ

### 規制基準値と臭気指数の推移 (毎年5月時点)



- 臭気対策として煙突をかさ上げたところ、臭いを感じる範囲が広がった。
- かさ上げにより規制基準値が緩和。臭気指数も上昇している。
- ※基準値は、排出ガス流量などにより、測定時ごと変動する。

ココを改善指摘！

## 一般会計

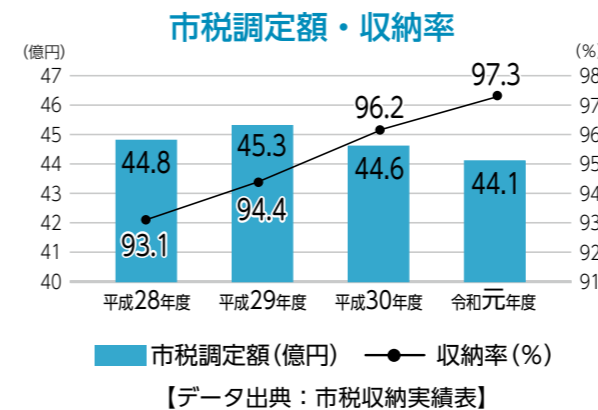
# 給食費の扱いは評価 臭気問題は早期対応を指摘

## 暮らし・まちづくり

ココを評価！



**市税は堅調、収納率は改善**  
 市税全体の収納率が97.3%となり、改善率は1.07ポイント向上。事務改善の成果が表れている。



ココを評価！



**鳥獣害対策、効果あり**  
 有害鳥獣被害対策は、専任職員の配置、猟友会との連携による個体調整の結果、効果が現れてきた。



電柵の設置により棲み分けを

### 芸術文化事業は目的を明確に

芸術祭、アーティスト・イン・レジデンス事業ともに市民の関心度が低い。目的を明確にし、市民の関心を高める必要がある。

### 市営駐車場、費用対効果が課題

駅前駐車場、利用者増に向けた取り組みが求められる。また、一部無料市営駐車場において、悪質な私的利用も見受けられる。運営の改善を。

### ケーブルテレビ運営、有効な加入促進を

ケーブルテレビ加入促進の有効な取り組みを。また、運営経費、機器更新等の経費抑制のため運営形態の見直しも必要。

### 労働力不足の解消に努力を

企業誘致により雇用需要は増加しており、労働力不足が心配されるため、定住促進施策と併せ解消に努められたい。

ココを改善指摘！

### 地産地消のさらなる推進を

そばスタンプラリーなど実施しているが、一過性のイベントに留まっている。観光事業と連携し、さらに効果的な展開を！

ココを改善指摘！

# 令和元年度 役所の仕事をチェック

事務事業評価

決算審査と合わせ、昨年度の事務事業について、特に検証が必要と考える10事業をピックアップし、「拡充」「現状のまま継続」「改善のうえ継続」「見直し」の4項目に分類評価しました。評価にあたっての議論や意見の主なものは下記のとおりです。

## 第1分科会審査

### 美麻地域振興事業

- 起業者育成・支援など

改善のうえ  
継続

起業者支援事業は、特に補助金交付後の起業者への指導・チェック体制の強化を求める。地域づくり事業については、優良事例を参考に地区の持続可能性を高められたい。

### 芸術文化振興事業

- 芸術祭の開催や、AIR事業などを通じて、市内経済の再生を図る

改善のうえ  
継続

国際芸術祭とアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業との連携や、事業の必要性について市民への説明が不十分。AIR事業については、委託された文化団体のみによる活動でなく、他の団体等の参加との連携も検討されたい。



コタケマンさんと作品あさひAIR 滞在アーティスト展覧会「生まれたて天国」

### 農業振興事業

- 新規就農者への支援、有機農業の推進支援など

改善のうえ  
継続

### 創業支援事業

- 中小企業や、起業者への支援

改善のうえ  
継続

### 工場等誘致振興助成事業

- 企業立地による雇用増と地域経済の活性化を目指す

改善のうえ  
継続

## 第2分科会審査

### 山村留学支援事業

- 山留学生受け入れにより、教育効果の向上や地域活性化につなげる

改善のうえ  
継続

都会の子ども達が自然の中で農業・共同活動を体験できる有意義な事業。受入れ農家の減少・高齢化という課題解消に向け、非農家での受入れ・寮単独方式・家族滞在等も検討されたい。また山村留学OBとの継続的な交流等も検討されたい。



手作業で稲刈り、生き生きとした山留生の姿

### その他障害者福祉サービス

- 相談体制の確保や、福祉タクシー券交付など

改善のうえ  
継続

### 精神保健事業

- 自殺者を増やさないための啓発や相談・指導など

改善のうえ  
継続

### 児童福祉扶助費

- ひとり親家庭や障がい児をもつ家庭などへの支援

拡充

ひとり親家庭・障がい児を持つ家庭が、経済的に安心して生活できるための重要な事業。社会情勢の変化に伴い今後は対象者の増も見込まれる。安定した財源確保のため、国や県へのさらなる支援の充実を求めていくべきである。

### ICT推進事業

- 情報化の進展に対応できるよう児童生徒の情報活用能力を育成する

改善のうえ  
継続

# 特集 決算審査 令和元年度決算

## 建設・水道

ココを評価!



リフォーム事業  
経済効果も大!  
住宅性能リフォーム事業、交付額に約7.9倍の経済波及効果があった。引き続き市民のニーズに応える事業の継続を。

### 水道ビジョンにそった運営を

環境変化により水質悪化が進みつつある。給水人口、有収水量がともに減少する中、水道ビジョンが策定された。計画実施にあたっては、費用対効果を十分検証し、老朽管や施設の更新や耐震化を図られたい。

### 簡易水道事業、安定的な水道水の供給を

総事業費のおよそ5割が一般会計からの繰入金。施設等の更新にあたっては、合理的かつ計画的に行い負担の平準化に努め、安全な水を安定的に供給できるよう努められたい。



更新を待つ三日町配水池

ココを改善指摘!



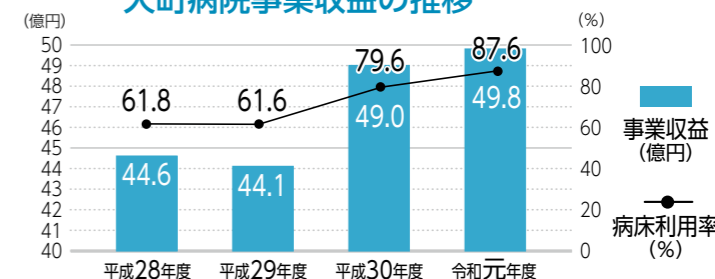
## 地域医療の要 大町病院

ココを評価!



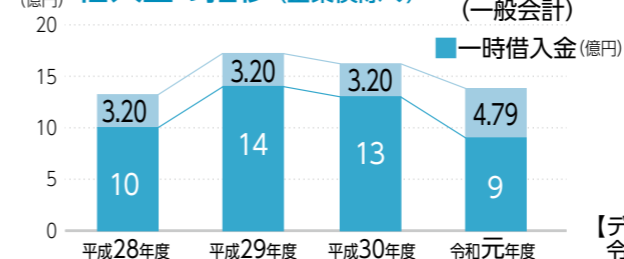
全職員の努力に感謝!  
昨年度に引き続き収益増、コスト削減が図られたことは、病院全員の努力の結果であり評価する。

### 大町病院事業収益の推移



- 平成30年度から経営健全化計画に基き、経営改善を図る。
- 病床数の削減、経費節減などにより、収益は増加!
- 一方運転資金を借入金で補う体質に変わりはない。

### 借入金の推移 (企業債除く)



### 経営改善、道半ば

一般会計からの長期借入金に対する返済が令和19年まで続く。また将来的な設備投資の必要性も迫っている。更なる経営努力を。

【データ出典：令和元年度決算審査意見書】

ココを改善指摘!



# 一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

## 委員会代表質問

各団体との連携の継続性、人材育成が持続の鍵となる



総務産業委員会 大竹真千子が問う

### 地域の防災活動を持続するには

**問** 自治会・防災会のリーダーに限らず対象を広げ、防災・減災に関する講座を受講してもらうような取り組みはできないか。

**答** 役員が1年で交代する団体も多い。役員交代の時期に合わせて、毎年研修会を開催していきたい。地域防災力の強化は市民一人ひとりの意識によって図られる。より多くの皆様に災害対応等について学ぶ機会を提供することに努めていく。

**問** 防災活動を通常の活動に織り交ぜて推進することで活動しやすくなる。そういった意味で利用できる「自主防災会訓練助成金」の活用状況はどうなっているか。

**答** 地域の様々なイベント等で防災活動を盛り込みつつ自然と防災力を身に付けても

らえる活動は有意義であり、すでに訓練に生かしている地区もある。自主防災会訓練助成金は昨年13の自主防災会に助成金交付した。今後も助成金を活用した訓練がより多く実施されるよう制度を周知していく。

**問** 防災活動を地域で継続させるためには、人材育成、防災教育、防災訓練など様々な要素を長期的な視点に立って備える防災計画が必要と考えるがどうか。

**答** 現在、大規模な災害が発生した場合の受援体制の整備や、国や県の計画改定に合わせ、全体的に見直しを進めている。今後の修正等は市全体を長期的な視点から考えた防災計画となるよう進めていく。

#### ●関連質問 (一本木委員)

**問** 避難所の開設・運営体制は。

**答** 各自治会・自主防災会単位できめ細かな研修を行い、避難所が適切に解説できるようにしていく。

#### ●関連質問 (降旗委員)

**問** 1自治会1名とはいかないまでも、多くの防災士の資格取得が必要ではないか。

**答** 指定避難所に配置できるよう、令和6年度までには30人程度の育成を目指す。

## 個人質問

医療現場・市民生活がひっ迫 財源確保は大丈夫か



政友クラブ 二條 孝夫が問う

### コロナ禍における財政運営は

**問** 今現在、新型コロナウイルス感染症の対策経費として9月定例会補正予算を含めて37億5,473万円にも上り、それに伴う一般財源の持ち出しも2億4,084万円である。合併算定替の特例も今年から終了、財政調整基金も11億7,000万円にまで減少した。コロナ対策を含め今後の財政運営は如何にするのか。

**答** 国からはコロナ感染症対策として、地方創生臨時金や緊急包括支援金を交付金として受けることになる。しかし、一般財源の持ち出しは避けられない。市内経済の落ち込みに伴う今後の税収見直しを考えると財源確保は相当厳しいと考える。まず歳入を的確に見込み、事業の必要性や費用対

効果の検証をしっかりとし、有効な施策を選択していく。

**問** 財政運営の基本理念「入りを量りて出づるを制す」の言葉通りにならないのが、コロナ禍での財政運営である。医療現場、市民生活がひっ迫していく状況の中、市長は市民の悲痛な叫びをどう受け止め、どう考えているのか「入りを量りて出づるを活かす」財政運営は出来ないか。

**答** 市の財源を有効に活かすため、「新型コロナウイルス戦略、おおまち再生プラン」を作成した。感染症等の非常事態にも負けない持続可能な社会経済構造の実現に向けて、新たな視点で戦略的に取り組むものだ。国の支出金を可能な限り確保し、必要な一般財源を投入し、市内の活力をV字回復させるため、大町再生プランを実現する。



財源確保が厳しい中、地方創生臨時交付金をうまく活用しおおまち再生プランに期待する

コロナ禍での状況は不要不急の芸術祭は中止すべきだ



日本共産党 大町市議団 平林 英市が問う

### 芸術祭中止は市民の声だ

**問** 第2回国際芸術祭は来年8月に開催するとしている。コロナ感染症の終息が見通せない中、開催する根拠は何か。

**答** 感染症終息は予想出来ない。感染防止対策を徹底し、市内活性化のため行う。

**問** 市民から感染防止が最優先課題の中での開催に疑問と不満の声が出ている。

**答** 様々な意見があることは承知している。観光協会等からは観光産業の経済活性化のため強く開催を希望する声がある。

**問** 国際芸術祭としているが、海外旅行規制のなかでは、国際芸術祭と言えない。

**答** 国内、県内、近県に絞ったマイクロツーリズムに動き始めていく。

**問** 芸術祭開催を中止すれば、勇気ある

決断として市民は評価する。

**答** やめるという発想でなく、市内を盛り上げ、元気にするために開催する。

### 固定資産税の減免で負担軽減を

**問** 国は令和3年にコロナ感染症で影響を受けた事業者に固定資産税の軽減処置をおこなう。令和2年度の固定資産税を自治体として減免実施を行うことが必要か。

**答** 市の基幹税であり、軽減や減免は出来ない。

**問** 減免規定には、「特別な事情」がある場合は減免できるとある。国民健康保険税や介護保険料はその適用になっている。

**答** 市税は「特別な事情」の解釈は天災等の大規模の災害であり、適用にならない。



2020年開催予定であった北アルプス国際芸術祭

市民と情報共有し、子ども達の為の向きの議論を！



創生みらい 降旗 達也が問う

## 小中学校再編は市民と共に！

**問** 小中学校の再編に係る経過の説明を市民に対してのように行ってきたのか。

**答** 広報おおまちで3回にわたり特集を組み、都度、それまでの保護者や市民アンケートの結果とその時点での検討課題と検討経過等を報じた。本年4月号では、検討委員会の報告書概要を特集記事として、詳細を掲載し、同時に「大町市立学校通学区再編審議会」の公募委員の公募を行った。

**問** 学校の位置によって「まちづくり」の考え方も変わってくると思うが。

**答** 学校は地域コミュニティの核として重要な機能を有し、施設配置の影響は大きい。再編は、跡地利用策も含め将来のまちづくりを考える上で重要な要素となる。各



「大町市立学校通学区再編審議会」の議論が無駄にならないよう丁寧な情報提供を！

部局と連携し、まちづくりの方針を共有しながら「立地適正化計画」の作成を進める。

**問** 再編に係る資料がホームページで閲覧できないが取り扱いはどうなっているか。

**答** 会議録や報告書についてHPに掲載していない。順次情報の掲載を始めている。

**問** 市民への説明の場を、市民からの要望により開催するのではなく、積極的に説明会等を開催していくべきではないか。

**答** 十分な情報提供と丁寧な説明を行いながら広く市民からの意見を聞くため、要望を受けてからの説明会に限らず、教育委員会としても積極的に説明会等を開催し、意見をいただく場を設けていく。

**その他** 北アルプス国際芸術祭について・新型コロナ克服戦略について質問した。

異常な繰り入れと後世に残る長期借入金



無所属クラブ 高橋 正が問う

## 病院の経営は本当に大丈夫か？

**問** 大町病院が大きな負債を抱えた主な原因は、9年ほど前の「施設基準」の取得に伴う給与費の増大による。一昨年・昨年度と、病院への繰入金金は、年間9億2,000万円にも上り、市の持ち出しも年間約4億6,000万円にもなる。市長の後援会報には、「平成30年度は、5億円余の黒字。令和元年上半期も黒字で、明るい見通し。」とあった。こんな内容を読んだら、給与までカットされた職員は、一体どう感じるか。ここ数年、多額の繰り入れだけではなく、一般会計や市中銀行からの多額の一時借りに入りに頼って急場をしのいでいる病院が、急に黒字になるとは考えられない。医療業務だけで言えば、確かに給与削減で8,000万円。手当の削減4,500万円。材料費削減1,500万円。施設基準や各種加算等々で全体として2億3,000万円ほどの増収を達成した。これは医療従事者の身を切る努力の結果である。だがまだ過大な額の繰り入れは続いている。そこで確認するが、現在市の一般会計や市中銀行からの長期・短期の借り入れの全ての残額はいくらか。また返済予定はどうか。

**答** 一時借入れ金の残高は、元年度末9億円である。一般会計からの長期借入金は、平成27年度3億2,000万円。令和元年度1億5,900万円。本年度2億3,800万円(全体で16億1,700万円)である。一時借入れ金は、令和8年度に完済の予定。長期借入金は、令和19年度までの償還計画となっている。



どうする、巨大すぎる建造物の行く末は。確かな長期計画を！

説明が必要ではないか。

**答** 徹底した感染対策をして実施する。

## 芸術祭・学校再編説明が必要

市民は、芸術祭を市の活性化策と思っていない！



市民クラブ 大原 富義が問う

芸術祭は来年開催可能か

**問** なぜ今会期を決めたのか

**答** 開催に向け関係者の調整や準備のため1年前に決める必要があったから。

**問** 善光寺の御開帳や諏訪の御柱祭も来年開催を延期している。市民の機運も高まっていない。この状況でできるのか。

**答** 指摘の行事は大町の芸術祭とは規模が違ふ。細心の注意を払う、安全対策を徹底して実施すれば可能だ。

**問** 芸術祭の目的は何か。

**答** コロナ禍で落ち込んだ市内経済を盛り上げ、まちの活気を取り戻すことだ。

**問** 目的を含め、市民の理解を得られる

## 小中学校再編の議論と今後は

**問** 小中学校の再編に関するこれまでの議論と、今後の進め方は。

**答** 義務教育のあり方について検討委員会を設置し、意見徴収や状況把握を行ってきた。その結果、旧大町市内の小学校は2校、中学校は1校として通学区の見直しと再編を行う。現在は検討中だ。

**問** 新聞等の情報が先行し、憶測が飛び交っており、具体的にしなければ「もめる」ことが予想される。早期の説明が必要。

**答** あり方検討委員会の議論も含め早期に説明会を開いていく。



前回地元の人々の協力で組んだ雲結い。大勢の来場者で賑わった木崎湖だったが・・・

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



水で繋がるグリーンツーリズム、酒の町、有機栽培

政友クラブ 中村 直人が問う

## コロナ後の時代に輝く水のまち

**問** 12月の一般質問で提案した、内閣府の選定する「SDGs未来都市」への応募が為さ採択された。どういったものか。

**答** 『水が生まれる信濃大町・サステナブルタウン構想』として、「水」を中心とするブランド戦略を中心に、持続可能なまちづくりを推進する。国からの総合的な支援を受けて進めることとなる。

**問** コロナ後の時代には感染症対策をしながら、豊かな自然環境を活かした移住施策や観光は益々重要になる。どう考えるか。  
**答** 3密を避ける安心安全な観光地を目指す。また、自然豊かな環境の下で仕事を行ってもらうリゾートテレワークの推進なども盛り込んだ。



学校の新しい生活様式では、1クラス20人にすべき

日本共産党 宮田 一男が問う

## 3密は、少人数学級で克服を

**問** 小中学校で、児童生徒の座席間の距離が2メートル以上ある教室はいくつか。

**答** 座席間の間隔は、固定したものでないのが実測は困難だが、全体の3分の2、約66%が25人以下のクラスとなっている。

**問** 文部科学省は、学校の新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルで、人との間隔は2メートル開けることを推奨し、1クラス20人の座席配置の例を示している。さらに、教育の専門家や政府の諮問機関からも少人数学級実現の声が上がっている。政府に対して1クラス20人学級の実現を要望すべきではないか。  
**答** 直ちに20人規模は困難であり、35人以下を要望する。



コロナ禍の農業政策と常盤地区の臭気問題を問う

政友クラブ 一本木秀章が問う

## 農業政策と臭気問題は

**問** 新型コロナウイルスによる農業関係の影響と対策はどうなっているか。

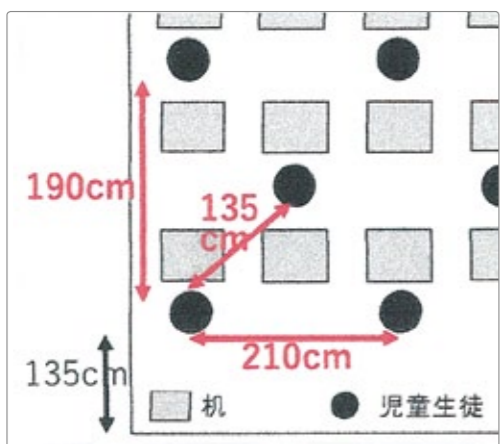
**答** 市の独自調査によると、例年同時期と比較した経営状態や影響は、感染拡大による影響があったと回答した方が30・6%、影響がないと回答した方は69・2%であったが、秋以降の販売数の減少や価格の下落など、今後の影響を心配する声が多くあった。国や県の方針や需給見通しを踏まえ、需要に見合った適正生産を推進していく。行政、生産者団体が一体となり、緊密な連携と役割分担のもと、米の需給と価格安定に向け支援していく。

**問** 国が実施する支援事業は、主にインターネット販売推進事業と



地下水のくみ上げ規制条例案も提出された。当市の水を守り、活かしていくことが重要。

**問** 水がテーマの観光に仁科三湖は外せない。観光政策の中でどう位置付けるか。  
**答** 豊かな自然の残る仁科三湖はコロナ後の時代、重要な観光スポット。地元関係者等と意見交換を重ね協働に努める。  
**問** 観光においても重要な「食」にも大町の水の清廉なイメージを活かすべき。蕎麦などの栽培と共に、高付加価値の有機米の栽培を推進する計画を持ってないか。  
**答** 農作物のブランド化として、現在策定に向けて準備している大町市農業振興計画の中に位置づける予定だ。  
**問** 水を活かした酒のブランド化、消費振興策は？  
**答** 着地型観光に活かせるように生産者・観光関係者と協働し進めていく。



文部科学省、「新型コロナウイルス感染症衛生管理マニュアル」の1クラス20人の座席配置図

**問** 山村留學生への支援を  
**問** 山村留學生は、夏休みに実家に帰宅した。感染防止対策をとって行ったが感染への不安を解消することはできなかった。県内では、3市村が山村留學生を受け入れており、売木村では、公費でPCR検査を実施した。山村留學を支援する方策として、長期休業時に、大町市でもできないか。  
**答** 市が公費で検査することは困難  
**問** 学校一斉休校について  
**問** 突然の休校で、学校も家庭も混乱した。教育委員会の議論を経て決定したのか。  
**答** 教育委員とは、電話で連絡し教育長の委任事務として処理した。



日本酒の消費減少により、酒米の需要が減り、本年度の酒米はまだ出荷されていない

Go To Eatキャンペーン事業がある。これらは農水省直轄の事業であり、事業者が直接登録や申請をする必要がある。  
**問** 臭気問題について  
**問** 常盤地区の臭気問題の現状は。  
**答** 泉地区の堆肥製造工場では、脱臭装置の導入や、搬入量の抑制などの対策を講じている。こうしたなか、工場側から新たな燃焼方式による脱臭設備の導入について提案があったが、導入には近隣住民の理解が必要である。煙突を高くしたため、広範囲で臭気を感じられるようになったことから、新施設建設にあたっての住民説明会の対象に、泉地区以外の地区も対象に加えることを検討している。

### 用語解説

- ①SDGs未来都市 内閣府がSDGsの達成に取り組んでいる都市を選定する制度。
- ②水が生まれる信濃大町・サステナブルタウン構想 「水」などの地域資源を活かし、市民主体の産学官金連携によって、地域の課題解決に取り組む構想。

自力避難困難な高齢者や障がい者の個別計画策定を



政友クラブ 岡 秀子おかの ひでこが問う

### 正しい避難情報は周知への取組は

**問** 昨年10月の台風19号による被災者への内閣府による調査では、避難勧告と避難指示の違いの認知度は2割以下であった。「勧告」は急いで逃げる必要がない。「指示」や特別警報の場合は、本気で逃げなければならぬ。このような誤った思い込みは、避難行動が遅くなり、より危険である。正しい避難情報を理解し、正しく行動することと自分の命は自分で守ることになる。命を守る行動へどう繋げていくのか。

**答** 広報やHPはもとより各種訓練等様々な機会を捉え、避難情報の認知度向上に努める。自らの命を守る行動をとるため、マイタイムラインを活用していく。

**問** 逃げ遅れ防止策として、災害時要支援者(自力避難が困難な高齢者や障がい者等)の個別計画の策定はほとんどされていない。災害が激甚化している中で、1日も早い個別計画の策定と実効性のある避難体制が望まれる。ケアマネジャーら福祉課と連携強化し、逃げ遅れ防止策に市としてどう取組むのか。

**答** 個別計画の策定には行政はもとより、自治会や自主防災会、民生児童委員、消防団、福祉関係者等、地域の協力が不可欠となる。市として、消防防災課や福祉課等関係部署が連携し、必要な情報を提供し、計画策定に向け支援の必要な方が逃げ遅れることが無いよう、地域が支え合う体制づくりの取組みを推進していく。

**その他** 大町総合病院の在り方等質した。



池田町の避難支援計画と大町市の支え合いマップ。実効性のある支援体制構築が望まれる

コロナ感染者に対する誹謗中傷は人権侵害だ



公明党 太田 昭司おおたの しょうじが問う

### 市民を守る万全なコロナ対策を

**問** 新型コロナ感染者への誹謗中傷が後を絶たない。感染者を誹謗中傷から守るための万全の対策が必要だ。

**答** これまで、不当な差別・偏見、SNSでの人権侵害を行わないことを訴える市長のメッセージを7回発信した。今後も市として法務局、県、人権擁護委員等の関係機関と連携し感染者を守っていく。学校や保育園、商業施設等においても人権啓発活動を実施し差別の防止を訴えていく。

**問** 今年の秋冬は新型コロナとインフルエンザの同時流行が強く懸念される。現在、ワクチン接種への市の助成は「中学3年生、高校3年生、65歳以上」に限定される。今年は助成対象を拡大すべきだ。

**答** 国・県の今後の動向を注視する。

### デジタル化・ICT化について

**問** ICTの活用は障がいのある子ども達の教育において非常に有効だ。積極的に導入を進めるべきと考えるがどうか。

**答** ICTは個々の障がいの特性に応じて指導の効果を高めることができる有用な機器だ。積極的に活用を進めていきたい。

**問** 日本語が苦手な外国人児童生徒の教育にもICTを活用すべきだ。

**答** これまでも外国人児童生徒が在籍する小中学校への通訳者の派遣を行ってきた。今後は児童生徒の個々の状況に応じて多言語化に対応した翻訳システムやデジタル教材の導入を図り、学習支援に努める。



コロナとインフルの同時流行を防ぐために、インフルワクチン接種の助成対象拡大を

安全・安心な水道水供給は、大町市水道事業の原点だ



無所属クラブ 大和 幸久おおわの よしひさが問う

### 居谷里は矢沢水源に切り替えを

**問** 居谷里水源では平成18年に大腸菌が検出され、19年には、厚生労働省が指針を出し、この時点で「レベル3」のクリプト原虫対策を行う必要があった。しかし、大町市は10年以上にわたり危機管理をしてこなかった。この原因を「レベル1」の感覚であったと答弁している。重大な職務怠慢だ。市長は責任をもって実態説明をすべきだ。

**答** 現在までレベル1の認識はない。集水管を変えてから大腸菌はでていない。

**問** 市は「三日月配水池では水質検査をしても濁度・色度は検出されておらず、安心な水を配っている状態」と答弁した。しかし、平成14年、厚生労働省は指針で「原水から一度でも大腸菌が検出された時、大腸菌の検出原因が明らかになれば、対策が行われていなければ、原水の糞便による汚染が否定できず、濾過施設が必要となる」としている。濾過施設のない大町市は、濁度が0.1以下であっても「クリプト汚染の恐れがある施設」となる。15年間にわたって安全対策を怠ってきた大町市の責任は非常に重い。市長はどのように検証するのか。

**答** 濾過施設がなくても基準以下なら良い。

### 水源の切替は国の指針

**問** 国は汚染の恐れが高い水源は「汚染の可能性が低い水源に変更するよう」指導している。水源変更を優先すべきだ。

**答** 安全に飲んでいただいております問題はない。



居谷里水源 集水枧。表層の水も流れ込む？

#### 用語解説

**クリプト原虫** 消化管に寄生し感染症を起こす。大腸菌のように塩素消毒で死なないため、水道水では濾過、紫外線照射が必要。



支援が必要な子どもたちの増加はどのようなのか

政友クラブ 山本みゆきが問う

### コロナ禍での子育て支援は

**問** 「新しい生活様式」のもとで、子育てしている保護者への支援は。

**答** 電話や、オンラインによる子育て相談の実施について検討をしている。また、保育所や児童センター等への、空気清浄機の設定、手洗い場の自動水栓化を進める。

**問** 支援が必要な子どもが増加しているが、市はどのような支援を行っていくのか

**答** あゆみ園や児童発達支援事業の受け入れ体制が十分でない事が課題であり、見直しを進める。

**問** 今後充実させていく「産後ケア事業の通所型」とはどのような事業か。

**答** コロナ禍で、里帰り出産や、県外に住む親の支援が受けられない中、産後ケア事業を通所による利用もできることとした。  
**問** 子どもが健全に育つための全学的な取り組みは。

**答** 10月から大町総合病院で病児・病後児保育を始め、保護者の就労と育児を支援する。また、将来安定した人間関係を形成できるよう乳幼児期の愛着形成が重要である。そのため、専門性を持つ保健師や助産師、保育士等が連携して相談・支援を行う「子ども家庭総合支援拠点事業」を4月に開始する。

**問** 子どもと母親の健康を守る保健センターの充実を。

**答** 本年度、機能訓練室へエアコンの設置、トイレの洋式化、妊産婦の皆さんのためのフリースペースの整備を計画している。



保健センター内に妊産婦の皆さんの交流の場として、フリースペースが整備される。



森林経営の転換機会。市のビジョンを明確に示せ

創生みらい 傳刀 健が問う

### 新制度、森林経営の展望は

**問** 森林経営管理制度の目的と進捗は

**答** 森林経営や管理が適切に行われていない「森林所有者」と意欲ある「林業経営者」を市が仲介役となり、適切な森林経営を目指す。一方で、林業経営に適さない森林は市が直接管理する。現在、森林の傾斜や地質などの基本情報を整備し、図面化する作業に取り組んでいる。

**問** 災害防止、貯水、環境保全など森林の目的ごとや、その土地にあった適正な樹種ごとに色分けすべきだが、現在の計画の中で整理されているか。

**答** 平成28年策定の整備計画では、森林の目的別区域や樹種別の標準伐期、造林方法は示している。色分けはしていないが、

計画策定から5年が経過しており、関係者の意見を聞きながら見直しを進める。

**問** ④森林環境譲与税の見直しと使途は。

**答** 元年度は譲与額1,192万円全額が基金に積立てられた。6年度以降は4,000万円程が見込まれる。本年度は森林の基本情報データ整備費に充て、今後は長期的かつ計画的な森林整備事業のため、積立てを併用しながら事業に充当していく。

**問** 姉妹都市立川市では6年度以降2,600万円程の譲与が見込まれる。大町市の森林木材を利用してもらうためにも、市内事業者と連携を図るべきではないか。

**答** 林業事業者、家具や楽器などの製造業者、クラフト作家等と意見交換をし、協力体制を構築するよう取組んでいく。



森林経営は長期計画。今こそ林業を見直し、持続可能な森林サイクルを構築するとき



当圏域の集団感染について 錯綜する情報を検証する

政友クラブ 大竹真千子が問う

### クラスターの発生について

**問** 当圏域で発生した集団感染(クラスター)はどのような点が問題だったのか。

**答** 新型コロナウイルスの感染対策は、県が主体となって対応するため、保健所が疫学調査や防止対策を図ることになっている。調査結果などの詳細は市町村に知らされることのないため検証はできない。一般論として言えば、クラスターの発生場所の共通要件としては「3密」を避けることが重要であるとされている。密閉空間、密集場所、密接な場面を避けることを引き続き呼びかけ、対策の徹底を図っていく。

**問** 市長の記者会見での発言が一部切り取られた形でメディアに出ているが真意は。

**答** 記者会見の席上での発言として「飲食店に気の緩みがあった」と述べた、と誤って報じられた。音声記録を確認したところ「更なる感染防止対策に全力を尽くしてまいりたい。特に市内飲食店の皆様には、今までも感染防止に一生懸命取り組んでいた。今も来ておりますが、私どもも、関係の皆様にも気持ちの緩みというものがあったのか、改めて県地域振興局と協力しながら一層の感染防止対策にご協力をお願いしたい」と発言しており「私ども」は感染防止を担当している行政を指して述べたものだった。一旦報道された情報は不正確でも、仮に誤りが含まれたとしても、そのまま事実として受け止められがちである。発言には誤解が生じないよう気を付け、今後一層気持ちを引き締めて対処していく。



クラスター対策には3密の回避が重要！定期的な換気対策も冬に向けて考える必要あり

#### 用語解説

④森林環境譲与税  
森林経営管理制度の財源。令和元年より国から譲与されている。



議案第71号 一般会計補正予算(第11号)

## インフルエンザワクチン、一部接種無料

議案の概要

この冬季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されるため、優先的接種の対象者(妊婦及び6カ月乳児から小学2年生)はインフルエンザ予防接種を無料とするための補正。

委員会審査

**問** インフルエンザワクチンの確保は。

**答** ワクチンは各医療機関が発注することになっている。現時点ではワクチンの確保が心配されるが、12月には一定量が供給される見込みである。

**問** 新型コロナウイルス対策で、インフルエンザワクチンを接種することとした理由は。

**答** インフルエンザによる患者の増加で、医療現場の混乱を防ぐためである。

結果

全会一致で原案可決



議案第58号 国保特別会計補正予算

## 八坂・美麻両診療所に発熱外来設置

議案の概要

発熱等の症状を有する患者と、その他の患者が混在しないよう導線を確保するため、発熱外来を設置するための補正。

委員会審査

**問** 発熱外来設置に伴う購入予定備品は。

**答** 八坂診療所は、処置室に発熱外来用の待合を設置する。空調設備がないためエアコンを設置する。美麻診療所では、待合を設置する場所がないため、診察室に陰圧空気清浄機を設置する予定である。

結果

全会一致で原案可決



地元住民の健康を支える八坂・美麻両診療所

## 主な審査案件の審議内容

議案第57号 一般会計補正予算(10号)

## コロナ禍を乗りきるために総力を

議案の概要

主に、新型コロナウイルス感染症対策経費にかかる補正。市内バス事業者への支援として、旅行支援事業補助金500万円。日帰り旅行にはバス1台3万円。泊りではバス1台6万円。50本ほどの旅行を想定。また木崎湖にWiFi環境を整備予定。

委員会審査

観光課所管

**問** 木崎湖だけでなく青木湖へも人が来ている。対策はどうするか？

**答** 現在人気のキャンプ場をグリードアップしたい。海ノ口キャンプ場ではトイレの改築。青木湖では看板の整備等考えている。

商工労政課所管

新型コロナ感染拡大防止支援金について

**問** 農業者が支援金の対象にならなのは理解できない。

結果

**答** 支援金の目的は感染拡大防止である。例えばビニールを立てたり、消毒液を置くなどの処置で、10万円を支援した。農業では直売所や農業者などへの申請はいただいた。農業者については今後仮払いがどうなるか、来年の作付けなど今年以降が心配である。状況に応じて支援を考えなければならない。

結果

賛成多数で可決

陳情第2号 少人数学級と豊かな学校生活の保障を求める陳情

## 小規模学級実現を求める

議案の概要

安心・安全な少人数学級は、20人程度の規模に。また、授業を詰め込みすぎず、仲間との学びと豊かな学校生活の保障を求める陳情。

最終口討論

原案に賛成

子ども達に少人数学級をプレゼント

新型コロナウイルスなどの感染症を防ぎながら、子供たちが伸び伸びと学べる環境を整えるには少人数学級が必要だ。早期導入を求める署名活動が広がっている。

(宮田)

原案に反対

子どもたちは少人数学級を望むのか

小学校の現状は、20人から30人規模の学級編成である。集団生活において多様性に触れ、社会性を養うには今の規模が必要。地域事情を踏まえた実施を望む

(山本)

結果

賛成少数で不採択

(中村)



八坂小学校、授業風景





### 9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。採決の結果は、次ページの審議結果をご覧ください。

#### 議案第57号

### 令和2年度 一般会計補正予算

#### 反対

#### 個人情報企業が行政に使われる

補正予算の戸籍附票システム等事業に反対する。国のマイナンバー法強制事業であり、国・自治体のデータを民間がビジネスに利用する道を開くもので反対する。(大和 幸久)

#### 議案第62号

### 令和元年度 一般会計歳入歳出決算の認定について

#### 反対

#### 北アルプス国際芸術祭負担金の執行に反対

雪不足やコロナ禍の中で経済は疲弊しており、市民からは「本当にやるのか」「感染が心配」の声が聴かれる中、見直しが必要。(宮田 一男)

#### 差し押さえは生活破壊

消費税増税、雪不足、コロナ禍で経済が落ち込む中、市税滞納事業者を県地方税滞納整理機構へ移管をして、財産差し押さえするのは血も涙もないやり方。生活を保障するのが市の責務だ。(平林 英市)

#### 地方自治の破壊につながる

連携自立圏事業は、国の自治体戦略2040構想のもと実施される。AI等で地方自治体を標準化、圏域(郡)に再編成し、行政サービスの民間化を目的とするもので反対する。(大和 幸久)

#### 賛成

#### 将来を見据えた行財政運営を

大町病院は、一般会計の繰出金に頼った経営のうち病棟の老朽化が迫っている。小中学校の再編は、いずれ財政の負担が予想される。将来を見据えた持続可能な行財政運営の構築が必要。(大塚 富義)

#### 入りを量りて出ざるを制す財政運営

財政健全化判断比率も良好である。市税収納率向上を高く評価、地道な活動が財源確保に貢献しているということ、是非、庁内全体で共有してほしい。決算認定に賛成である。(二條 孝夫)

#### 市の活力と創造性育む文化振興事業

国際芸術祭等の文化振興事業は、大町市の経済活動のみならず、全ての社会活動を推進するための活力と創造性を育む重要な事業だ。(太田 昭司)

#### 議案第66号

### 令和元年度 水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について

#### 反対

#### 安全安心な水道事業に

長野県への大町市水道事業認可申請書の事業計画の誤り、水道ビジョンの事業計画の誤り、いずれも同一業者が請け負う。受領した大町市と共に検証がなく、反対する。(大和 幸久)

#### 賛成

#### 更なる効率的な事業推進を

安心・安全な水の安定供給に向け、水源の保全や施設の計画的な改築・更新に取り組んでいる。経営は健全に推移している。(大竹 真千子)

#### 議案第68号

### 令和元年度 公共下水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について

#### 反対

#### 使用料金費用の二重計上見直しを

使用料に算定する、対象資本費、接続維持費、資産維持費は、本来、加えてはならない費用だが、使用料計算に使われており、過大な使用料金の徴収に反対する。(大和 幸久)

#### 賛成

#### 一般会計からの繰出金は適正に執行

資産維持費も国の方針に沿って適正に対応している。9,870万円の純利益だが今後も厳しい経営状況が予想される。更なる効率的な事業運営を要望する。(大竹 真千子)

#### 議案第70号

### 令和元年度 令和元年度 病院事業会計決算の認定について

#### 賛成

#### 経営改善に努める病院を応援

給与カット等の職員の努力、着実な計画の実施により前年度比5,800万円余の医業収益改善。純利益は2億8500万円余。借り入れも計画内に留まる。(中村 直人)

#### 病院経営はおおむね順調

平成30年度末に策定された「市立大町総合病院経営健全化計画」に基づく2年目の決算として、計画に従い極めて順調に進んでいるため、賛成だ。(一本木 秀章)

## 令和2年9月定例会 提出案件の審議結果

### ◇賛否が分かれた案件

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示

議案番号等	案件	議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示													結果							
		日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ			個性がい	公明	無所属	神	社	正	幸								
		宮田	平林	大和	高橋	中牧	大塚	中村	山本	大竹	一本木	岡	二條	降旗	傳刀	太田	神	社	正	幸		
議案第57号	令和2年度大町市一般会計補正予算(第10号)	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第62号	令和元年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第66号	令和元年度大町市水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第70号	令和元年度大町市病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
陳情第2号	コロナ禍で学ぶ子どもたちに、少人数学級と豊かな学校生活の保障を求める意見書提出の陳情	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない。

### ◇全会一致で可決・同意・採択された案件

議案番号等	議案名等	結果
議案第54号	市道路線の廃止及び認定について	原案可決
議案第55号	大町市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第56号	大町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第58号	令和2年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第59号	令和2年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第60号	令和2年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第61号	令和2年度大町市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第63号	令和元年度大町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第64号	令和元年度大町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第65号	令和元年度大町市公営簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第67号	令和元年度大町市温泉引湯事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	認定
議案第68号	令和元年度大町市公共下水道事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	認定
議案第69号	令和元年度大町市農業集落排水事業会計余剰金の処分及び決算の認定について	認定
議事第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決
議案第71号	令和2年度大町市一般会計補正予算(第11号)	原案可決

次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば



ふくしま ひろゆき  
**福島 博幸**さん  
(大町 大原町)

- 1 一番多いのがシャインマスカット、次が長野県限定のクインルージュ。いずれも種なしで皮まで食べられます。
- 2 稲作は農機具などのコストがかかるのでブドウ栽培に切り替えました。
- 3 棚方式だと、新植して収穫まで5年かかるが、垣根方式だと3年で収穫できる。現在は120アール栽培しているが、将来は増やしていきたい。



にしざわ むねお  
**西沢 宗男**さん  
(平 仁科郷)  
大町ワインブドウ  
生産組合長

- 1 平成2年からワイン用ブドウ「メルロー」と「シャルドネ」の栽培をしています。
- 2 1990年組合に入会。初代組合長 遠藤正さんの影響を受けて、栽培を始めました。
- 3 良いブドウを作って、大町ならではのおいしいワインを作ってもらい、地元の人々に飲んでもらえればと思っています。

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。  
気候の変動などにより大町市が適地になりつつあるぶどう栽培。今回はぶどう作りに取り組む農家さんにインタビューしました。

- 1：どのようなブドウを栽培していますか？
- 2：大町でブドウ栽培を始めたきっかけは？
- 3：今後の展望、夢を聞かせてください



やの よしお  
**矢野 喜雄**さん  
(平 新郷)  
ワイナリー  
フェルム36  
サンロク

- 1 自社栽培したブドウ「メルロー」で赤ワイン、「シャルドネ」で白ワインを醸造し、去る9月4日に新発売しました。
- 2 大町を選んだのは、温暖化が進む中今後は寒暖の差が大きい大町市が最適地になると思ったからです。
- 3 昨年認可を受けて「ワイナリー フェルム36」を操業開始しました。多くの方においしいワインを届けていきたい。



わかばやし まさき  
**若林 政起**さん  
(大町 大原町)  
ノーザンアルプス  
ヴァインヤードワイナリー

- 1 今は、白ワイン用のシャルドネ、赤ワイン用のメルローという品種がメインです。
- 2 叔父がブドウ生産組合をやっていたので、Uターンしてブドウの栽培を始めたのがきっかけです。
- 3 新型コロナの影響で売り上げが大きく落ち込んでいるので、栽培面積を減らして地道にやっていくしかない。造るだけでなく売ること工夫していきたいです。

次回12月定例会予定

- 開 会 12月1日(火) 午前10時～
- 一般質問 12月9日(水)～11日(金)
- 最終日 12月22日(火) 午前10時～  
討論・採決



インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。  
録画・再放送もご覧いただけます。

大町市議会 議会中継

あしがき  
夏の終わり、霧のけがる深夜。山中で小さな光を見た。すわ！人魂か！と身構えたが、虫でなかった。しかし、虫の話は聞かない場所。気候変動で生き残るために移動してきたのか。人間界ではコロナの騒ぎが続く。優しく明滅する光をみながら、私達も生きていくのだ、と思った。  
(中村)